成蹊

中学・高等学校

SEIKEI JUNIOR HIGH SCHOOL
SEIKEI SENIOR HIGH SCHOOL

SCHOOL GUIDE 2023

成蹊は、人を創る

教育目標

本校は、「個性の尊重」「品性の陶冶」「勤労の実践」の三つの建学の精神に基づき、
下記の教育目標を掲げ、自ら課題を発見し、解決できる「0 to1」の発想が持てる
人材の育成をめざしています。

・多様性を持ってグローバルに対応できる能力と個性の育成
・自立精神と自律的行動力を持って社会に貢献できる人材の育成
・リベラルアーツによる知的好奇心と物事の本質を見極める探究心の育成

成蹊での学びから「0 to 1（ゼロ トゥ ワン）」の発想を持つ人材に

成蹊学園には、創立者中村春二先生の「知育偏重では無く、人格、 学問、 心身にバランスが取れた人間教育を実践したい」という精神が今でも流れています。 この教育を達成するため、1912年の創立以来、「個性の尊重」「品性の陶冶（とうや）」「勤労の実践」という建学の精神を尊重し、 伝統として受け継いできました。 その上で、「多様性を持ってグローバルに対応できる能力と個性の育成」「自立精神と自律的行動力を持って社会に貢献できる人材の育成」「リベラルアーツによる知的好奇心と物事の本質を見極める探究心の育成」を教育目標として掲げ、解答の無い社会であっても、新たなものを創造する「0 to 1」の発想を持つ人材の育成をめざしています。

これからの未来においては、 偏差値といった数値で見える能力だけではなく、「発信力」や「コミュニケーション力」といった非認知能力の育成が欠かせません。 また、さらに進んでいくグローバル社会においては、 日本の伝統を胸に、 世界に眼を向けることが重要となります。 そのために、本校が大事にする「個性の尊重」は、 自己の個性を磨くとともに、 他者の個性も理解し尊重する「共感力（エンパシィ）」を育て、 異文化理解を進めています。

そして、 生徒一人ひとり個性を伸ばす中、 人間性も育成するためには、 品格と教養をバランスよく備えることも重要です。 本校では、幅広い教養を持たせるリベラルアーツを重視し、生徒一人ひとりが「琴線に触れる」学びを実践することにより、「品性の陶冶」を培っていきます。

しかし、より「琴線に触れる」学びには、机上の学びだけではなく、 本物に触れることが大切です。 本校では、 実際に体験する活動を重視し、 それを実社会に結びつける教育を実践しています。 このような「勤労の実践」は、 はたらくことを厭わず、思いやりを持って社会に貢献する姿勢を育んでいきます。

中学・高校の6年間は、生徒たちの人生にとって「人を創る」大事な時期です。 この成蹊中学・高等学校では、 そのかけがえのない時期に、 多様な個性を持った友達や教員と出会い、さまざまな体験や幅広い学びを通して、共に考え、悩み、感動することができます。 緑濃き武蔵野が残るこのキャンパスで、是非とも一緒に学びたい気持ちを持った生徒との出会いを、私たちは心から楽しみにしています。

校長　仙田 直人

創立者 中村春二の情熱が息づく成蹊の教育

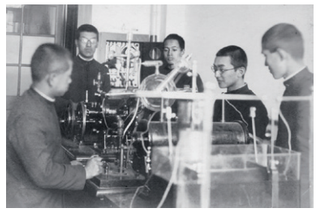
中村春二

成蹊学園の創立者 中村春二は、 明治末期の日本教育が個性を無視した画一教育に陥っていることを深く憂えていました。 そこで「知育偏重ではなく、 人格、 学問、 心身にバランスの取れた人間教育を実践したい」と、1912（明治45）年に成蹊実務学校を創立。
「個性の尊重」「品性の陶冶」「勤労の実践」という建学の精神を柱とした成蹊教育は、 その使命を見失っていた当時の教育への鋭い警鐘となりました。
そのような理念の中に込められた中村春二の情熱は、 時代がどのように変遷しようとも決して変わらないものであり、今日まで着実な歩みを進めてきた本校に今も脈々と息づいています。

実務学校開校当初の授業風景

理化館での授業風景

新制中学校歴史の授業風景


旧制高等学校物理の授業風景

校名・校章の由来

「桃李不言下自成蹊」
桃李ものいはざれども、下おのづから蹊を成す

「成蹊」という名は、 この言葉に由来しています。 桃や李（すもも）は何も言わないけれど、 美しい花を咲かせ、 おいしい果実を実らせます。 すると、 それにひかれて人が集まり、樹木の下には自然と蹊（こみち）ができる。 桃や李は、人格のある人のたとえで、つまり、そういう徳のある人には、その徳を慕って人々が集まってくる、 ということです。 これは、 中国に古くから伝えられたことわざを、「史記」の作者である司馬遷が、 李廣の人物を賛えるために引用したことから有名になったものです。

成蹊の文字を葉のついた桃の実の上に配した校章は、中村春二自らが考案したものです。 時代とともに少しずつ形を変えてきましたが、「桃李不言下自成蹊」の精神を表したシンボルとして親しまれ続けています。

建学の精神

時代を超えて変わることなく
受け継がれる精神

個性の尊重

自らの個性を伸ばすことはもちろん、 皆が互いに思いやり、 それぞれが持っている個性を認め合うこと。 これは異なる文化や習慣を理解し、 尊重することにも通じ、 グローバル社会におけるコミュニケーションには欠かすことのできないものです。

品性の陶冶

多くの仲間と触れ合い、切磋琢磨しながら自らを高め、品格と教養をバランスよく備えた優れた人格の育成を意味しています。中村春二は「心を育てる教育」として、良いものを鑑賞すること、自然と親しむこと、科学を研究することなどを特に奨励しました。

勤労の実践

机上の学びには限りがあり、 実際に体験し、 本物に触れることが重要なことはいうまでもありません。 人のためにはたらくことを厭わず、 自らに置き換えて動くことができて初めて、 誇りを持って社会の発展に貢献できる人になり得るのです。

凝念（ぎょうねん）

授業の前に集中力を高め
気構えを養う、伝統の精神集中法

手を組み、目を閉じ、呼吸を整え、精神を集中する。 中村春二が教育に取り入れた独自の精神集中法が「凝念」です。 ここには、「精神を集中させ、それを持続する習慣を養うことは教育の徹底に不可欠である」という創立者の教育理念が継承されています。 現在では中高ともに朝礼で行われており心を落ち着かせ、授業への集中力を高めます。

ユネスコスクール認定

成蹊学園は2019年11月、パリのユネスコ本部より、 ユネスコスクールとして認定されました。
成蹊学園がユネスコスクールに認定されたのは、「個性の尊重」「品性の陶冶」「勤労の実践」という建学の精神に基づく教育実践がユネスコ憲章に通ずるものとして高く評価されたからです。
ユネスコスクールに認定されたことを機会に成蹊学園はその教育理念と実践を広く国内外に向けて発信していきます。

United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization

Member of UNESCO Associated Schools

沿革

1906年（明治39年）	中村春二　自宅に学生塾を開塾 翌年、「成蹊園」と命名
1912年（明治45年）	成蹊実務学校創立 黙想による精神集中法「凝念」開始
1914年（大正3年）	成蹊中学校開校
1915年（大正4年）	成蹊小学校開校
1917年（大正6年）	成蹊実業専門学校開校 成蹊女学校開校
1924年（大正13年）	学園本館完成 池袋から吉祥寺に校舎移転 中村春二　死去
1925年（大正14年）	旧制　成蹊高等学校（七年制）開校
1926年（昭和元年）	高等学校教諭加藤藤吉の生徒指導により気象観測法に準拠した正式観測開始（1959年「成蹊気象観測所」設置）
1947年（昭和22年）	新制　成蹊中学校開校
1948年（昭和23年）	新制　成蹊高等学校開校
1949年（昭和24年）	セントポールズ校（アメリカ）への留学開始 成蹊大学開学
1964年（昭和39年）	小学校・中学校　海外帰国生教育を目的とする「国際特別学級」設置
1970年（昭和45年）	カウラ高校（オーストラリア）との交換留学を開始
2003年（平成15年）	カウラ高校短期留学を開始
2004年（平成16年）	「成蹊学園 国際教育センター」設置
2006年（平成18年）	ケンブリッジ大学（イギリス）短期留学を開始
2007年（平成19年）	中学校　1クラスの少人数化実施
2012年（平成24年）	学園創立100周年
2014年（平成26年）	カリフォルニア大学デービス校（アメリカ）短期留学を開始 成蹊中学校創立100周年
2015年（平成27年）	チョート・ローズマリー・ホール校（アメリカ）サマースクール派遣を開始
2016年（平成28年）	フィリップス・エクセター・アカデミー校（アメリカ）サマースクール派遣を開始 チョート・ローズマリー・ホール校（アメリカ）長期留学を開始
2017年（平成29年）	ルンステッド高校（デンマーク）、カルマーレ国際高校（スウェーデン）、短期留学を開始
2018年（平成30年）	成蹊学園サステナビリティ教育研究センター設置
2019年（令和元年）	学園　「ユネスコスクール」に認定

このページの内容は
「進学ガイドブック」
および
WEBサイトで
詳しく紹介しています

成蹊中高の教育

成蹊中高の教育には、旧制七年制高等学校創立以来100年にわたる歴史と伝統があります。生徒の発育・成長に合わせたカリキュラムと生徒一人ひとりに寄り添う指導により、自らの才能を自覚し、伸ばしていけるようサポートしています。生徒は学校生活を通じて学ぶことの楽しさを知り、将来の進路選択へとつなげていきます。

中学校のカリキュラム

まず、成蹊生としての学習習慣、生活習慣を身につけます。

スケジュール管理帳
『日進月歩』

中1では、1クラス36名で個性を認め合いながら協調性を培います。

英語では「聞く・話す・読む・書く」の4技能を学びます。

少人数による英語の授業

授業中のプレゼンテーション

帰国生英語特設クラスの授業

体験・観察重視の授業を通じて、「考える力」を習得します。芸術教育では、豊かな感性と創造力を養います。

生物の観察実験

気象観測実習

特別教室棟での書道の授業

ICT端末を授業や自宅学習、行事等で活用していきます。

英語でのタブレット活用

物理の実験手順を動画で確認

感染拡大時期のオンラインホームルーム

高校のカリキュラム

1年
共通カリキュラムを通じ、自らの資質や関心を見出す力を身につけます。

数多くある質問コーナー

IT端末を使った資料作成

2年
文系・理系のいずれかを選択し、進路を具体化します。

文系の授業

理系の授業

3年
文系・理系の進路に合わせた19のコースを設定。全授業の約半分をコースごとに行います。

資料が豊富な進路指導室

進路別の授業

探究
世の中の課題を発見し、答えの用意されていない問いに対して、創造的に取り組みます。

工芸デザイン演習の建築模型制作

家庭科のテーマ学習　プレゼン大会

社会科レポート

共通カリキュラム
進級するにつれて
選択カリキュラムが増えていきます

- 英語｜ グレード別に2段階に分けた授業を行います。
- 数学｜ 高校からの入学生と内部進学生でクラスを分けて授業を行います。
- 芸術｜ 必修選択（音楽、美術、工芸、書道）

理系コース
文系コース
選択演習（数学、英語、芸術など）

理系10コース
文系9コース
選択演習（数学、英語、芸術など）

- 英語｜
- 数学｜

グレード別に3段階に分けた授業を行い、それぞれのレベルアップを図ります。

科目紹介

国語

多くの文章に触れ、考えること。それは他者の考えを受け入れ、理解し、ひいては自らの考えを形成することにつながります。自身が関心を持って作品と向き合うことは必ず何らかの気づきをもたらし、新しい世界を広げてゆくことでしょう。

国語／現代文

考える力を育む

多くの文章を読み、他者の意見を聞くことで新しい視点を獲得し、自身の考えを深めていくことを大切にしています。考えを表現する経験を積み重ねることで、思考の柱を形成します。

古典

慣れ親しみ、深い理解へ

中学では国語科教員が編集したオリジナルテキストを用いて代表的古典作品に慣れ親しみ、高校ではより詳細な読解を行います。作品の面白さに触れることで興味を持って読み解くことをめざします。

作文

自分の言葉で表現する

中学では独立した授業として文法と作文に取り組み、高校では現代文の授業で作品解釈を文章化し、力を伸ばします。自身の考えを明確にし、他者に理解してもらうために必要な力を養います。

社会

個人と社会の結びつきの仕組みを理解し、国際社会の市民として身につけるべき多様な価値観を学び、思考を深めます。教員の専門性を活かした、幅広くオリジナリティーあふれる授業を基に、多様な進路に対応する論理展開力、問題処理能力を高めます。

地理

現実の社会と社会科学習を結びつける

地域社会と国際社会の現状を学びながら、知識を充実させるだけでなく、社会を仕組みとして理解する思考を身につけます。日本の社会、国際社会の中で自分の存在を意識することをめざします。

歴史

事象の原因やつながりを的確にとらえる

現在との対話につながるように歴史を学びます。過去のできごとの因果関係をつかみながら、今ある「私たちの社会」がどのように形作られてきたのかを考察し、同時に現在を見る目を養います。

公民

社会と人間を学び生きる力を身につける

平和で民主的な社会を主体的に形成していく上で必要な知識を身につけることに加えて、現代の具体的な課題についても原理的・理念的にとらえ直す論理的思考力をつけることをめざします。

Interview

納得がいくまで、“なぜ”を追及し、学べる授業にあふれている。

2022年度　中学3年 ■ **箱﨑 琉之介**さん

「〇〇は〇〇だから憶えなさい」ではなく、「なぜ〇〇なのか?」を納得いくまで調べたり、教えてもらえるので、しっかりと頭に残ります。また、みんなの“なぜ”があるほど、そこから発展してさまざまなことを知ることができ、プラスαの学びが広がります。私は、化学の実験が好きです。実際に手を動かして学んでいくので、どんどん興味が沸いてきます。もちろん実験に失敗することもありますが、そこには“なぜ失敗したか”というたくさんの“なぜ”があり、成功した以上に学問的な広がりを感じることができます。酸化還元の実験で見たマグマは圧巻。本当に授業が楽しいです。

数学

数学的に「正しいこと」を探求する教科です。その正しいことは何千年経っても変わらず、全世界で共通なことなのです。世界中の人々が、今この瞬間にでも、論理的な思考力を駆使して（面白くて）正しいことを探し求めています。

中学

基礎学力の確実な定着をめざす

中高6年間の数学を俯瞰し、数学の本質を理解して楽しむことに留意して指導しています。すると早期の段階で高校数学を理解する論理的な思考力が養われます。高校数学の一部を先取りしたり、超難問に挑戦するなど余裕を持った勉強ができます。

高校

普遍的に応用できる学力の定着をめざす

数学はそれ自体純粋に魅力的な教科ですが、自然科学や経済学などに応用できる教科でもあります。試行錯誤しながら「真理」に迫る経験は、大学入試を突破する力をつけることは勿論、将来いろいろな仕事をする上でも役に立つ力をつけてくれるでしょう。

理科

実験・観察を重視することで、手で触れた感覚やにおいをかぐという映像だけでは伝わらない経験を重ね、基本的な実験スキルを身につけていきます。実験から得られた結果を考察し、互いの意見を議論することで論理的思考力を育みます。

物理

実験を通して幅広く学ぶ

充実した機材を用いた多様な実験を通して、物理現象の捉え方や問題の考え方を体験的かつ体系的に学んでいきます。

化学

実験やモデルを通して抽象概念を理解する

基礎的な実験器具の扱い方から学習を始め、原子等ミクロな世界も模型を利用し、暗記に頼らず体系的な知識を獲得していきます。

生物

学園内の自然から学ぶ

緑豊かな校内の動植物に触れながら、実践的な授業を展開。遺伝実習を含め、多様な実験・観察を行い、自然科学の基礎を身につけます。

地学

好奇心に応える専門性の高さ

中学から専門の教員による授業を展開。実物に触り映像やPCを駆使して学習します。生徒自身による気象観測は長い歴史を誇ります。

このページの内容は
「進学ガイドブック」
および
WEBサイトで
詳しく紹介しています

英語（外国語）

日本での英語学習経験者のほかに、帰国生や留学生も多く、外国人教師も多数います。
中学はホームルームを2分割した少人数クラスで、国際学級と帰国生には特別クラスを用意しています。
高校では学力別クラス編成をしています。

中学

4つの基本技能をバランスよく習得

一貫して音声を大切にし、「聞く･話す･読む･書く」(4技能)の基礎をバランスよく身につけます。 英語の発音と発表能力が向上します。 外国人教師の授業が中1・2では週1回、 中3では週2回あります。 ことばの「やり取り」が得意になります。

高校

英語を使いながら身につけ大学受験にも対応

普段の授業から、外国人教師や日本人教師と英語で「やり取り」することを意識して学習を進めています。高2以降は、帰国生向け英語、基礎英会話、第二外国語（全て選択科目）を履修することもできます。変化する大学入試の新傾向に対応する力をつけます。

芸術

楽器を演奏する、 絵を描く、 文字を書く、 物をつくるといった行為を通して、「自分を表現する」こと、
見る･聴く･触れるなど「本物を鑑賞する」ことを重視し、物事の本質をとらえる力を養います。

書道

人間性を高めるために「書く」

書道を「書写」ではなく自己表現のひとつとしてとらえ、中国の古典に触れ、さまざまな表現技術を駆使し、「文字」を造形する楽しさを体験します。

技術・工芸デザイン

形の把握、技術の習得、工夫する喜び

多彩な手道具や機械類が揃った造形館で自ら製図・設計をし、基本から制作までを学びます。

美術

絵画、版画、彫塑、デザインなどで表現力を体得

さまざまな制作を通して、 創造力を高めます。 高校の美術では油彩のほか、 日本画、 彫塑、 版画などにより表現の幅がぐんと広がります。

音楽

演奏から学ぶ、音楽との良い付き合い方

中学ではギターの演奏、 高校では珍しいオーケストラ楽器の実習を通じて、 身のまわりの音楽との関わりかたを体感しながら学んでいきます。

Interview

生徒の理解度を確かめながら進む授業。 深く学べて面白い。

2022年度　高校3年 ■ **加島 あかり**さん

先生から生徒への一方通行の授業ではなく、 自ら学んだことや、 疑問に対し先生がフォローしてくださいます。 授業後や放課後に質問をしに行くと、 理解できるまで説明してくださる先生がたくさんいます。 生徒の自主性を重んじ、 生徒をひと括りにせず一人ひとりを見てくれていると感じます。 最近は、 今まで以上に英語の授業に興味を持つようになりました。 生徒間のディスカッションが多く、 理解が深まるだけでなく、 帰国生も多いことからレベルの高い英語力が身につきます。 また、英語のみならず、どの授業でも深く学ぶことができる学校だと思います。

保健体育

成長期であるこの時期に、知ること（運動･健康･安全についての知識と理解）と、運動すること（積極的に運動に親しむこと）により、「心身の健全な発達」と、「生涯にわたりスポーツに親しむ態度」を育てることを目標に行っています。

中学

基本的な運動能力を体得します

安全に留意しスポーツに取り組む態度を育てることを大切にし、「跳ぶ力」「走る力」「投げる力」といった基本的な運動能力を高め、 健康の保持増進のための実践力の育成と体力向上を図ります。

高校

運動に主体的に取り組む姿勢を育てます

中学で体得した総合運動能力を発展させ、 運動の合理的かつ計画的な実践を通して、 運動の本質的な楽しさや喜びを深く味わい、 生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てます。

家庭

体験をもとに実践する喜びや達成感を味わいながら、生活を自分で創造する力を育みます。
教材には成蹊のキャンパスでとれる食材も使用し、旬の食材の良さを学びます。
また、社会のさまざまな問題点について生活者の視点でとらえ、考える力を養います。

中学

本物に触れる、生きた体験学習

頭付きの魚を捌いたり、 自分の体を採寸して型紙から服を製作するなどの、 本物に触れる生きた体験学習により、 豊かな生活を自分の手で作り出せる実践力を育みます。

高校

生活者として自立し、発信する力を養う

自分の将来に大きく関わるテーマについて ICT機器を利用しながら探究的な学習も行います。 考えたことは班で発表したりレポートにまとめるなど、論理的に表現する力を養います。

情報

情報社会で生きるため、 情報技術に関する科学的な見方や考え方、 それらの活用法等について学習します。 また、情報倫理、著作権等、必要な知識をおさえつつ情報デザインやデータベースに関することなど、幅広いテーマの学習を通じて、情報社会で生きるための素養や考える力を磨いていきます。

高校

変化の激しい情報化社会における情報モラルや著作権、 コンピュータの仕組み等に焦点を当てて学習します。 この学習を通じて、 生涯にわたって残る教養を育てていきます。

Interview

根底から学び、探究心を養う。

■ **小池 憲一郎** 教諭（理科／物理担当）

理科は物理・化学・生物・地学に授業が分かれ、高い専門性をもった教員によって、高度で魅力的な授業が行われています。 豊かな自然環境や多様な資料に触れる実物主義の方針を大切にしつつ、 生徒・教員が共に ICTを活用することで、 自然科学を実験的にも理論的にも体系的に身につけていくことができます。「具体」と「抽象」の両方を重視し、「なぜ」を大切にすることで、 自然科学を根底から学ぶ授業を心がけています。 じっくりと時間をかけて妥協のない探究心を養い、幅広い真の教養のある人材を育てています。

多様性あふれる国際社会で活躍できる人材を育てる

成蹊の帰国生受け入れの始まりは大正時代と古く、1935（昭和10）年には全国に先がけ国際学級を設立しました。 帰国生の学習環境を整えるだけでなく、 さまざまな文化を背負って帰国する生徒の受け入れや海外から来る留学生の存在は、 海外に出たことのない生徒にとっても有形無形の異文化体験となっています。
国際理解教育の特色は、ネイティブスピーカーによる語学の授業から異文化への理解を深めるだけでなく、現代社会、政治経済、日本史、世界史などの科目を通じて、国際社会を理解するために必要な近現代史の教育にも力を注いでいます。
また、 留学制度や国際理解プログラムが充実しているのも本校の大きな特徴。 日ごろから多くの科目を通じて国際感覚を養い、真の国際人の育成をめざしています。

多彩な留学プログラム　世界に目を向け、積極的に海外を体験

成蹊では教養と個性を備え、 協調性を持ちながら自己開拓できる人材を育成するため、 早い時期から世界に目を向けた教育を実施してきました。 成蹊ならではの留学制度の充実もそのひとつです。 アメリカのセントポールズ校とは1949年から、 オーストラリアのカウラ高校とは1970年から交換留学を実施。 奨学金付きプログラムなど、成蹊独自の長期・短期プログラムが充実しています。
※最新のプログラムについては HPをご確認ください。

アメリカ

セントポールズ校
卒業生の目覚ましい活躍

アメリカ屈指の全寮制私立高校、テン・スクールズのひとつ。 卒業生はハーバード大学、 イエール大学などの名門大学に進学し、世界的に活躍しています。

チョート・ローズマリー・ホール校
ハイレベルなサマースクール

アメリカのテン・スクールズのひとつ。 サマースクールへの派遣と、長期留学生の派遣を行っています。

カリフォルニア大学デービス校
英語プレゼンテーション力もアップ

「英語とキャリア教育」を中心に学び、 英語でのプレゼンテーション力も鍛えます。 1ヵ月の短期留学を行っています。

フィリップス・エクセター・アカデミー校
2016年から相互交流

この学校で日本語を学ぶ生徒のサマープログラムと学期生を受け入れ、 本校からも同校のサマープログラムに奨学生を送っています。

このページの内容は
「進学ガイドブック」
および
WEBサイトで
詳しく紹介しています

オーストラリア

カウラ高校
ホームステイプログラムも充実

オーストラリア国内でも歴史のある協定留学制度。 長期・短期の留学生はホームステイをして、 オーストラリアの生活を肌で感じます。

イギリス

ケンブリッジ大学
成蹊高校のための独自のプログラム

ケンブリッジ大学のペンブルックカレッジが提供するサマープログラム。 世界屈指の名門校で、 英語やイギリスの社会、文化を学びます。

デンマーク・スウェーデン

ルンステッド高校（デンマーク）
カルマーレ国際高校（スウェーデン）
北欧の高校生と机を並べて学習

両校とも日本語コースのある私立学校で、成蹊独自の交流校です。ホストファミリープログラムでの受け入れと、 夏期派遣を行っています。

国内における国際教育プログラム

イングリッシュ・シャワープログラム

中1の希望者を対象とした、2日間にわたり英語漬けの生活を体験するプログラムです。日本とイギリスの学校、 文化や表現の違いなどを学びます。

エンパワーメントプログラム

外国人ファシリテーターのもと、 アメリカの大学生・大学院生を含む5～6名のグループに分かれ、自らの夢について英語で発表します。

成蹊が紹介するサマープログラム

イーグルブルック校（アメリカ）
中学生向けのグローバル・リーダーシッププログラム

アメリカのテン・スクールズに多くの卒業生を輩出する中学校のサマースクールです。 中学2・3年の生徒が参加可能です。

ターム留学制度（2022年度新規プログラム）

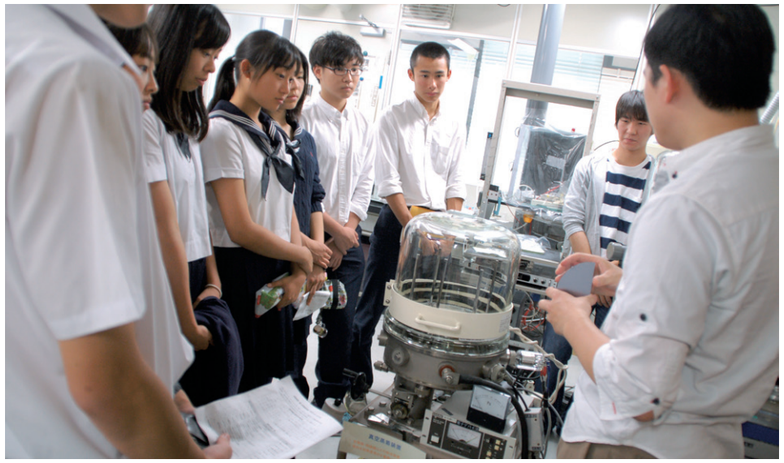
3学期（1月～3月）の3か月間、 学校を通じて指定された高校に通うプログラムです。 カナダのブリティッシュコロンビア州の高校を予定しています。 高校1・2年の生徒が対象です。

留学生の受入れ

高校のクラスに所属し、 クラスの一員として授業や行事に参加し、 クラブ活動にも加わります。

自分の可能性を知り、未来を選択し、目標を実現する

「将来、こんな仕事がしてみたい、研究がしてみたい」というきっかけづくりになるためにも、成蹊では「本物に触れる授業」を通じて幅広い教養を身につけ、各自の知的好奇心や科学的探究心を刺激していくことを大切にしています。成蹊大学教員による講演会や模擬授業、理工学部の研究室見学会とともに、医歯薬・芸術分野を含む多方面で活躍する卒業生の協力を得た、進路・進学についての講演会や相談会、企業見学など、生徒自身の主体性を醸成させ、継続する力となる講座を展開しています。



成蹊大学との連携（高大連携）

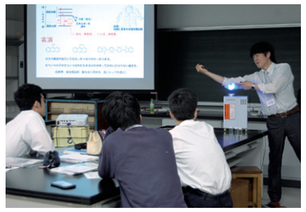
ワンキャンパスという環境を活かし、研究室見学会や講演会を実施。
高校3年では大学の正規の授業を受講でき、成蹊大学進学後には単位認定される制度もあります。

成蹊大学ゼミ体験（中大連携：中3年）

各分野の最先端の学問に触れる大学の学びを中学生のうちから体験することで、自らの将来や進路を考える機会としています。

卒業生の話を聞く会（中3、高1・2年）

各方面で活躍する社会人および現役大学生の卒業生を招いて話を聞き、自分の進路について具体的なイメージを広げる機会としています。



大学教員による模擬授業

さまざまな大学の先生方を招いて18~20講座の模擬授業を実施し、志望学部・学科を考える機会にしています。

上級TOEFL® 講座、SAT、アカデミックスキル講座

海外での授業の受講や進学をめざす生徒向けに、上級TOEFL®、SAT、アカデミックスキル講座を実施しています。アメリカ人のアカデミック・アドバイザーが担当し、指導しています。

探究学習

協力企業との共同ワークで主体的な学びや表現する力、協働する力を高めるプログラムです。希望者を募り、商品デザインなどの課題や、アントレプレナー教育の一環であるSTARTUPプログラムに取り組みます。

自習室

高校生が自由に使える自習室。このほかに進路相談室、図書室、職員室などにも自習スペースがあります。

このページの内容は
「進学ガイドブック」
および
WEBサイトで
詳しく紹介しています

進学について

成蹊大学への内部推薦制度

近年、約30%の生徒が成蹊大学へ内部推薦を希望し進学しています。内部進学のためには、一定の条件を満たす必要があります。3年間の成績と出席状況が良好であることが条件です。高校生活にきちんと取り組んでいれば条件をクリアすることは難しくありません。また成績上位者には、内部推薦の資格を持ちながら外部大学の受験が可能な**内推併願制度**もあります。

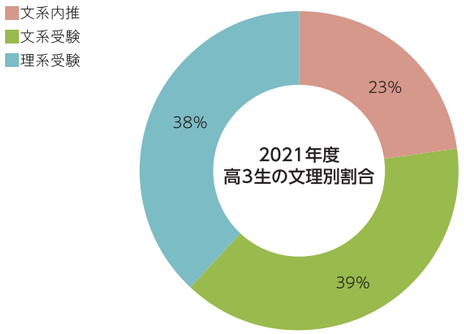
外部大学への進学

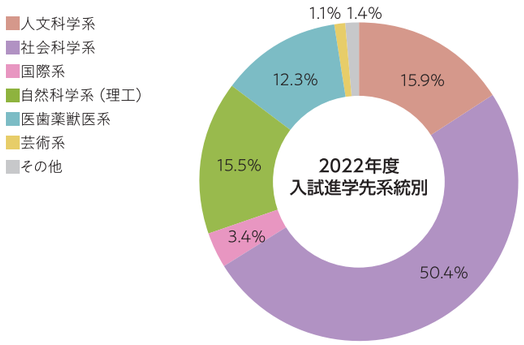
近年、約70%の生徒が成蹊大学以外の大学への進学をめざしています。成蹊高校での学習内容は、大学受験にも十分対応しています。本校では一人ひとりの志望を尊重しながら進路相談を行い、大学・学部の選択や受験に向けての対応をしています。また、指定校推薦を含む学校選抜型入試や総合型選抜などによる他大学進学の道もあります。

2022年度 指定校推薦依頼実績

慶應義塾大学、早稲田大学、上智大学、立教大学、東京理科大学、中央大学、国際基督教大学、北里大学（医）、聖マリアンナ医科大学、獨協医科大学など

成蹊大学





2022年度入試　大学合格実績

2022年3月31日付

国公立

東京大学	1
京都大学	1
東京工業大学	2
北海道大学	2
東北大学	1
東京外国語大学	1
東京農工大学	1
筑波大学	1
東京藝術大学	1
東京海洋大学	1
ほか	
合計	21

私立

上智大学	31
早稲田大学	28
明治大学	23
中央大学	20
立教大学	25
青山学院大学	21
慶應義塾大学	22
東京理科大学	11
法政大学	12
成蹊大学（内部推薦併願含む）	105
ほか	
合計	25

医学部医学系

杏林大学	4
北里大学	3
東京医科大学	3
聖マリアンナ医科大学	2
日本大学・獨協医科大学	
ほか	
合計	16

歯／薬／医療／獣医系

北里大学（薬／獣医／医療）	4
日本大学（歯）	4
麻布大学	2
日本獣医生命科学大学（獣医）	2
東京歯科大学	2
ほか	
合計	38

国際教養系

上智大学（国際教養）	6
早稲田大学（国際教養）	3
国際基督教大学	3
立命館アジア太平洋大学	2
青山学院大学（国際政経）	1
ほか	
合計	16

成蹊での学びと経験が“今”につながっている

多くの仲間とかかわり、個性を認め合いながら、自ら考えて行動する。
その学びと経験が多様な将来像へとつながっています。

Interview

知性と個性を育む
学び

受験勉強だけではない、これからの人生に役立つ学びがある。

森川 麗さん（小～高2004年卒）

東京医科大学医学部卒　慶應義塾大学大学院医学研究科博士課程修了
慶應義塾大学病院勤務　消化器内科医

成蹊は生徒の自主性を重んじ、 自由に学ぶことができるのが魅力の1つです。 蹊祭では、 有志の仲間と和太鼓の公演のためにひっそりと練習をしていたのは良い思い出です。 受験用の小論文が苦手だった私を先生が特訓してくださいました。 先生と生徒の距離が近く、 質問しやすい環境のため、 学校で丁寧に指導していただけたことが一番、 力がついたと今でも感謝しています。 幅広い教育を受けるため科目が多く当時は大変でしたが、 現在は、 専門性の高い職業であるが故、広い視野が求められ、視野が狭くなりがちな点を補ってくれていると感じています。

さまざまな挑戦が可能な
教育

幅広い教養教育。 さらに留学と大学受験が両立できる。

黒木 壮太さん（中～高2017年卒）

東京大学経済学部卒
株式会社国際協力銀行（JBIC）勤務

高2の時に1年間オーストラリア留学を経験しました。 帰国後は先生方が個別の質問に対応してくださる等のサポートで受験勉強に打ち込むことができ、東京大学文科二類に現役で合格しました。 教科の枠に囚われない多様な考え方や体験、 ディスカッションをする機会がたくさんあったことで、自らの興味を追求できました。現在の仕事では複雑な契約書を読解する論理性や、事業採算性を吟味する数理的素養が必要とされますが、そうした幅広い技能を獲得する土台となる知識は、文理を問わずさまざまな分野を学習する成蹊の教養教育によって培うことができたと思います。

強い精神力を養う
伝統

社会に出て気づくのは、成蹊生の精神力の強さ。

宮本 武明さん（中～高2007年卒）

慶應義塾大学法学部卒　慶應義塾大学法科大学院修了
弁護士　株式会社 THE LEGAL 代表

個性を重んじる教育が、 個性豊かな仲間とめぐり合わせてくれました。 仲間とともに大きな目標を掲げ、それを目指し努力することは何物にも代え難い尊さがあり、これを超える喜びはありません。 中高6年間所属していた硬式テニス部で得た経験が、 何事にも挑戦する気持ちの原動力になっています。 成蹊生には毎朝行う凝念や、 体育の授業の長距離走を通じて養われる共通の精神力の強さを感じています。 弁護士という職業柄か特にそう感じます。 成蹊で学んだことは盤石な人生の基礎を築き、生涯大切にできる仲間と出会えると思います。

グローバルな体験あふれる
留学

自分の心に従った決断を尊重し、見守ってくれる校風。

宮崎 愛子さん（中～高2012年卒）

慶應義塾大学大学院法学研究科政治学専攻・サラゴサ大学大学院（Spain）・グラナダ大学大学院（Spain）修了
外務省 外交官（在キューバ日本大使館勤務）

入学当初より交換留学をしたいと思っており、 AFSのプログラムを通じてデンマークへ1年間の交換留学をしました。 言語も文化も全く知らない環境に飛び込み、 現地校に通ったことは、自分の世界を広げ、 その後の進路や今の仕事にも繋がる経験となりました。 実はこの留学、 学内選考の結果、留学を諦めかけていたところ、先生の助言もあって見つけた留学先でした。 成蹊には、 生徒の可能性を摘まず、 背中を押し、 最後はそれぞれの決断を見守ってくれる空気があります。 自分で考える力を身につけ、 自由に生きていく姿を在学中も卒業後も見守ってくれる成蹊で過ごした日々は、かけがえのない財産です。

ワンキャンパスならではの
環境

自分の大学生像がイメージしやすいワンキャンパスの良さ。

小野塚 健さん（高～大学2014年卒）

成蹊大学理工学部卒　東京工業大学社会理工学研究科修了
三菱地所株式会社勤務

成蹊の先生方は生徒のやりたいことに対し「指導」ではなく、「選択肢を与えてくれる」というような立ち位置で生徒がチャレンジしたいことや取り組みを見守ってくださいました。 このような環境にいたことで、 社会に出てからも恐れることなく自ら考えて行動する力を得られ、 主体的に会社組織の一員として貢献できていると思います。 高校3年の時に、 大学では統計学を学びたいと思い、 成蹊大学理工学部の統計学を扱う研究室の教授に話を聞きに行き「ここで学びたい」と進学を決意。 日常的に大学生の姿を見ることで将来のことを自分で考えるきっかけになり、自分のやりたいことを考えて進路を決められました。

仲間との絆を深める
部活

仲間のために、誰かのために、自ら考えて行動する大切さ。

水野 伶佳さん（小～高2009年卒）

早稲田大学国際教養学部卒
グーグル合同会社勤務　ジュエリーブランドの立ち上げ・海外基礎化粧品代理販売

高校から始めたバレーボール部では選手としての活躍が難しかった私は、 試合では特にチームのために何ができるかを考え、 行動しました。 チームの応援や雰囲気づくり、 For the Teamという精神はその後の人生にとても影響しました。 現在の仕事でも、 この精神や行動を大切にしており、 相手が求めていることに対して的確な提案や実施に向けたサポートができるよう心掛けています。 また、 副業が認められている環境の中で、 ジュエリーブランドを立ち上げたり、 基礎化粧品の販売を手掛けたり、それらの仕事に共通しているのは、人を応援し、誰かのために行動する For the Teamの精神が息づいていることです。

心の色彩　織り成す成蹊の行事

中学・高校の6年間の大きな流れに、数多くの学校行事が節目をつくります。
四季とともに鮮やかに彩られる学校生活。 生徒の心と身体は「体験」を通して大きく成長します。

中学　高校

4
- 入学式
- 始業式
- オリエンテーション
- 防災訓練
- 新入生歓迎会
- 授業見学会

5
- 遠足
- 中間テスト
- 修学旅行（3年）
- 講演会（1・2年）
- 見学会（1・2年）

6
- 入学式
- 始業式
- オリエンテーション
- 防災訓練
- 新入生歓迎会

7
- 体育大会
- 生徒総会
- 中間テスト
- 遠足

8
- ★文化部発表会（6月展）
- 期末テスト
- 夏の学校（1・2年）
- 終業式
- プレエンパワーメントプログラム＊

9
- ★文化部発表会（6月展）
- 期末テスト
- 終業式
- 学習旅行（2年）＊
- ケンブリッジ大学短期留学＊
- エンパワーメントプログラム＊

10
- ★カウラ高校短期留学（3年）＊
- 学習旅行（2年）＊
- ★カウラ高校短期留学＊
- 北欧短期留学＊

11
- 始業式
- 体育祭
- 始業式
- 体育大会

12
- ★躍祭（文化祭）
- 中間テスト
- 遠足
- ★躍祭（文化祭）
- 中間テスト

1
- 生徒会役員選挙
- 防災訓練
- 名人会
- 防災訓練

2
- 期末テスト
- 終業式
- 期末テスト
- 終業式
- 学習旅行（2年）＊
- 始業式
- ★文化部発表会（1月展）
- 始業式
- ★文化部発表会（1月展）

3
- イングリッシュ・シャワー（1年）＊
- ★留学体験報告会＊
- マラソン大会（1・2年）
- ★留学体験報告会＊
- 学年末テスト
- 卒業式
- 終業式
- 学習旅行（2年）＊
- ★UCD短期留学＊
- 学年末テスト
- 合唱祭
- 卒業生歓送会
- 終業式
- 卒業式
- ★UCD短期留学（3年）＊

★＝中・高合同
＊＝希望者のみ

入学式

体育祭 体育大会

中学の体育祭は9月に、 高校の体育大会は5月と9月に開催。 学年を超えてクラス対抗で競い合い、大いに楽しみます。 企画や運営は生徒たちが主体となって行い、 自立と自律の精神を学んでいきます。

毎年秋に開催している文化祭。自主性を育むために、生徒自身が企画して運営します。準備段階から本番まで協力し合い、手づくりのイベントを成功させることで、大きな達成感を得ています。

躍祭（こみち）

卒業式

修学旅行

成蹊が重視している体験学習のひとつとして、 中3の5月に実施します。 4泊5日の日程で京都・奈良に行き、いろいろな教科で事前に学習した内容を実際に体験。本物に触れることで、知的好奇心を高めます。

夏の学校

本物に触れながら「自分で考える力」を身につけていく体験学習の中でも、 特に大自然に親しむことができる夏の学校。 自然観察や仲間づくりを行います。

島根県海士町

学習旅行

高校で行う学習旅行は、 一般的な修学旅行とは違います。 生徒と教員が一緒に企画し、 少人数・希望者参加の形で実施します。 夏休みや冬休みに、 海外も含めて合計8つほどのコースを設定。 貴重な体験を通して誰もが大きく成長していきます。

北海道

一生続く仲間に出会える クラブ活動

豊かな自然に恵まれたキャンパス、充実した設備で
のびのびと放課後を過ごすクラブ活動。
仲間と切磋琢磨するうちに、目標をもって時間を過ごす大切さ、
チームワークやリーダーシップなど、
自分を成長させてくれる体験に恵まれます。

運動部

剣道部 中 高

硬式テニス部 中 高

サイクリング部 高

サッカー部 中 高

山岳部 中 高

柔道部 高

水泳部 中 高

スキー部 高

ソフトテニス部 中 高

卓球部 中 高

バスケットボール部 中 高

バドミントン部 高

バレーボール部 中女 高

野球部 中 高

ラグビー部 中 高

陸上競技部 中 高

生徒会の活動

生徒の自発的な活動の中心となっているのが生徒会です。 生徒が学校に愛着心を持って取り組み、協力する活動の場として大きな役割を担っています。 東北支援など、社会貢献にも積極的に取り組んでいます。

■中学生徒会

蹂祭（文化祭）で
成蹊教育についてプレゼンテーション

生徒アンケートで
防災と交通マナーの啓発活動

■高校生徒会

2011年から続く
東北復興支援活動

FM西東京で生徒会と
スクール・ダイバーシティの活動をアピール

このページの内容は
「進学ガイドブック」
および
WEBサイトで
詳しく紹介しています

文化部

イラスト漫画部 中

英語部 中 高

演劇部 中 高

科学技術部 中

家庭部 中

コーラス部 中 高

自然科学部 中

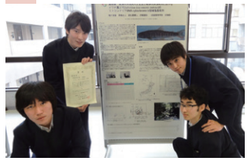
社会探検部 中

写真部 中 高

書道部 中 高

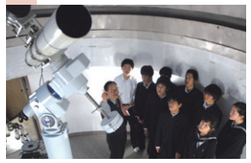
吹奏楽部 中 高

ストリングス部 中 高

生物部 高


ダンス部 中 高

鉄道文化研究部 高

天文気象部 高


美術部 中 高

文芸部 高

料理部 高

※一部のクラブを除いて活動は
中学・高校別々に行います。

中 中学校　高 高等学校

高校1年のある一日

8：30　午前の授業

月曜日なら1、2時限は教室。3時限目の化学は理科館に移動。 成蹊の理科は、実物や現象を実際に見たり（観察）、体験（実験）することを重視しており設備の整った理科館で授業が行われます。 午前は4時限目まであります。

8：10　登校　8：15　朝礼

吉祥寺駅からバスに乗って5分で大学正門に。 そこからけやき並木を数分歩いて到着。 8:15から朝礼、「凝念」で心を落ち着かせ、集中力を高めます。

12：20　昼休み

教室でお弁当を開いたり、 中高中央館の300席ある高校食堂で昼食。 食後の自由時間は仲間と楽しく過ごします。

13：10　午後の授業

5、6時限が午後の授業。 月曜は英語と保健体育ですが、 水曜日の芸術の授業では美術・工芸では造形館、書道・音楽は特別教室棟で行います。

15：00　放課後

6時限目終了後再び教室に集まり、 終礼が済んでから部活動となります。 1年生の部活参加率は8割以上。 学年を超えた交流が盛ん。 下校は18:30（4～10月）、17:30（11～3月）です。

恵まれた学習環境が整う ゆとりのキャンパス

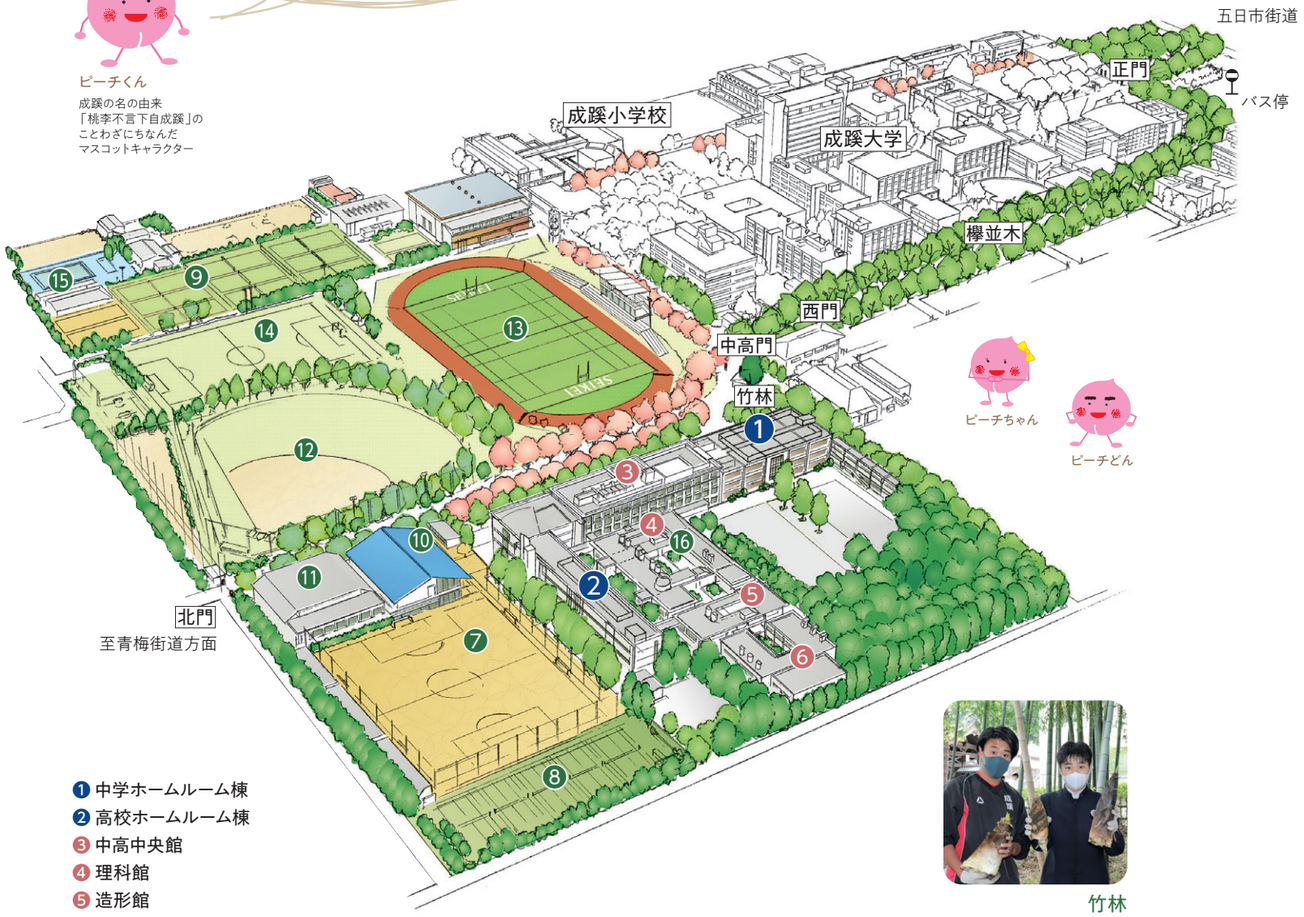
欅並木

五日市街道から中高門まで続く並木道で、四季折々の表情が楽しめます。この欅並木は現在、武蔵野市の天然記念物に指定されているほか、「新東京百景」や「残したい“日本の音風景100選”」にも選ばれています。

武蔵野の緑に囲まれた
自然がいっぱいのキャンパス。
その魅力を紹介するよ!

ピーチくん

成蹊の名の由来
「桃李不言下自成蹊」の
ことわざにちなんだ
マスコットキャラクター



1. 中学ホームルーム棟
2. 高校ホームルーム棟
3. 中高中央館
4. 理科館
5. 造形館
6. 特別教室棟
7. 中高グラウンド
8. 中高テニスコート
9. 大学テニスコート
10. 中高第1体育館
11. 中高第2体育館
12. 野球場
13. けやきグラウンド（400m競技場・ラグビー場）
14. サッカー場&ハンドボールコート
15. 北プール
16. 気象観測所

※9、12、13、14、15は学園共用施設です。

竹林

家庭科の授業では、
春に収穫した筍で「筍ご飯」を作ります。

13 けやきグラウンド

人工芝が敷き詰められたグラウンドです。ラグビー場を兼ねた400mトラックは、授業やクラブ活動、試合などに使用されています。

このページの内容は
「進学ガイドブック」
および
WEBサイトで
詳しく紹介しています

1 中学ホームルーム棟

床など建物の多くに木材を使用した
温かみのある校舎です。

フリースペース

2~4階各フロアの中央にあり、1学年が集まれる広さ。同じ学年の生徒同士でお互いの顔が見える、コミュニケーションを図るスペースです。

ホームルーム教室

十分な広さが確保された各教室で視聴覚教材を用いながら授業が行われます。

中学生徒ホール

中学生の憩いの場。また、多目的に利用できるホール。昼食時にはお弁当を持ち寄って食事をしたり、放課後には仲間と勉強をしたり、おしゃべりをしたり、生徒が自由に過ごせるスペースです。

分割教室

学習経験別に分けて行う英語の授業などに利用される教室。教育の特色でもある多様な授業形態に対応した設備です。

2 高校ホームルーム棟

進路指導や個人面談のためのスペースも充実。機能性あふれる校舎です。

フリースペース

ガラスが多く使用され、明るく開放感にあふれたコミュニケーションスペースです。

ホームルーム教室

各教室には、大型ディスプレイやパソコン設備が整っており、視聴覚教材を用いながら授業が行われます。

進路指導室

大学入試や模擬テストなどに関する資料が取り揃えられており、また、進路指導や個人面談のためのスペースも充実しています。生徒の個性に応じたきめ細かな進路指導体制を支えるスペースです。

合同教室

2クラス合同の授業などで使用される教室です。このほかに少人数で行う授業に対応した分割教室もあり、本校の特色である多様な授業形態を支えています。

8 中高テニスコート

中高専用のテニスコートは、全部で5面。人工芝なので天候に左右されることなく、ボールを追うことができます。

12 野球場

両翼90m、中堅115mの球場で、外野には鮮やかな緑の芝が植えられています。中高・大学の野球部が使用しています。

③ 中高中央館

最新の教育機器を導入し、充実した教育環境を誇っており、
図書室・高校食堂も完備しています。

高校食堂

約300席の食堂です。 明るい日差しが降り注ぎ、ゆったりとした食事の時間を楽しめるようになっています。 メニューも多彩で、栄養バランスにも配慮しています。

コンピュータ教室

48席のコンピュータ教室が2室あり、それぞれに高性能パソコンを設置、 これに教材提示用サブモニターを生徒2人に1台設置しています。 高校の「情報」をはじめ多くの授業で活用されています。

高校図書室

落ち着いた雰囲気で、調べ物だけでなく受験勉強のスペースとしても利用されています。 留学生向けの図書、充実した映像資料などに特色があります。

中学図書室

温かい雰囲気で、 本好きの生徒がゆったりと過ごすことができます。 2割を占める帰国生徒向けの英文書籍、『手塚治虫全集』をはじめとする良質なコミックの充実などに特色があります。

④ 理科館

成蹊の伝統である「実験実習重視」を象徴する、理科教育のための施設。 各科ごとの講義室や実験室を備え、屋上に天体ドームを設置しています。 理科の授業はすべてこの理科館で行われます。

物理

実験室2室、講義室1室、準備室2室を備え、 2名の実験助手の補助のもと豊富な実験実習を行っています。

生物

豊富な実験観察器具および生物標本を備えており、また、 校内の豊かな自然が直接授業に利用されています。

化学

本格的な薬品庫を備え、 数多くの実験・観察を中心とした授業を行っています。

地学

屋上の天体ドームにはコンピュータ制御の15cm屈折望遠鏡が設置されています。 また、旧制高校時代から収集されている地学標本には貴重なものが多くあります。

⑤ 造形館

造形館では、生徒自ら意匠し、つくり出すことをテーマに授業が行われます。
中学校の技術・美術、高校の美術・工芸デザインの授業に使われます。

技術室

金工や木工、 製図など、 中学の技術の授業の制作教室として使われています。 自らの手でつくり出すことから、モノづくりの楽しさを学んでいきます。

美術室

油彩や日本画、 各種版画制作など、 美術のアトリエとして使われています。 いろいろな素材を使った制作活動を通じて、 自己表現力を身につけます。

⑥ 特別教室棟

1学年全員が収容可能な大教室をはじめ、芸術・家庭科教育のための施設が充実しています。
放課後はクラブ活動でも活用されています。

大教室

舞台と映写設備が付設した施設で、 学年ごとのオリエンテーションや講演会、 クラブ活動の発表会、 日常の部活動などに利用されます。

調理室

9台の調理台および試食用のテーブルが設置されています。 調理に関する本も充実しています。

音楽室

大型スクリーンを備えた大小2つの音楽室では、 オペラ・オーケストラなどの映像作品鑑賞ができます。

書道室

半切作品を書くことができる大きめの机に、端渓硯・書架・墨床が備えられています。

成蹊の制服

中学、高校ともに詰め襟、セーラー服です。
2022年度から女子のスラックスも導入されました。
セーラー服のスカーフは、中学はえんじ色、高校は黒色となっています。
中学には指定のセーターもあります。

このページの内容は
「進学ガイドブック」
および
WEBサイトで
詳しく紹介しています

受験生と保護者のみなさまへ

Message

充実した環境で出会い、育まれる絆は、生涯にわたる財産となっていきます。

父母と教師の会（PTA）
川口 玲奈さん

生徒たちは、 先生方やさまざまな方々のサポートのもと、 勉強や部活動、 校内外の行事を通じて互いを認め合いながら尊重し、 力を合わせることで日々伸びやかに学校生活を送っています。 そして、 その中で培われる人と人との絆、 人格の育成こそが大きな魅力です。 ここでめぐり会えた仲間とともに、どんなときでも協力し、助け合い、成長しながら毎日楽しく学校生活を送っていることを親としてとてもうれしく思います。

グローバルな授業と、個性を伸ばす環境。

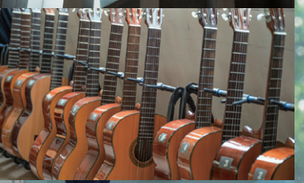
2022年度　高校3年
平野 稜也さん

成蹊は国際理解教育に力を入れているため留学プログラムが充実しています。 留学経験のある生徒や海外からの留学生とともに受ける英語の授業では、 英語を実践的に使用するため、 吸収できるものが多く、 国際感覚を養うことができます。 また、何か興味を持ったものに挑戦できる機会や環境が整っており、 先生方も自らの選択を尊重し応援してくれます。 私は高校から入学しましたが、私の選択は間違いなかったと感じています。

成蹊ならではの体験を通し、仲間とともに学ぶ楽しさを知る。

2022年度　中学3年
高畠 菜央さん

成蹊ならではの個性的な授業や、 充実した施設では、 さまざまな体験を通して本物に触れることができます。 所属する吹奏楽部では、 質のいい楽器を使い、プロの指導もあり、上達できる環境が整っています。 また、生徒が積極的に参加できるプログラムや委員会も豊富で、 リーダーシップスキルやコミュニケーション能力が身につきます。学校に来るのが楽しみ! という生徒の多さが、 成蹊の魅力を物語っています。



みんな自分の夢を追いかけている

世界にもっと近づきたい

友達と話す、大事な時間

部活でいい汗をかく

オンもオフも充実している

この毎日が、未来の土台になる。

いろいろな意見を大切にしたい

お気に入りの場所でスケッチ

好奇心がくすぐられる授業

「なぜ?」を深く考える

楽しい!夏の学校

原書で近代英米文学を読む

毎日の努力はきっと裏切らない

真剣に取り組むと楽しさがわかる

何事にも全力

■JR中央線・総武線　■京王井の頭線

吉祥寺駅

（北口1、2番乗場より関東バス）※すべてのバスが停車します
「成蹊学園前」下車、バス停より徒歩8分

■JR中央線・総武線

三鷹駅

北裏、武蔵関駅、田無橋場、柳沢駅行
（北口乗場より関東バス－鷹01・02・03、吉40）
「緑町住宅」下車、バス停より徒歩10分

■西武新宿線

西武柳沢駅

吉祥寺駅行（関東バス）
「成蹊学園前」下車、バス停より徒歩8分

武蔵関駅

三鷹駅行（関東バス－鷹02）
「緑町住宅」下車、バス停より徒歩10分

南口下車、徒歩20分

■西武池袋線

保谷駅

吉祥寺駅行（西武バス－吉63）
「慈雲堂前」下車、バス停より徒歩10分

吉祥寺駅行　（西武バス－吉66）
「武蔵野第四小学校」下車、バス停より徒歩10分

大泉学園駅

吉祥寺駅行（西武バス）
「武蔵野第四小学校」下車、バス停より徒歩10分

※バスは時間帯によって本数の少ない場合があります。お確かめの上ご利用ください。

成蹊中学・高等学校

https://www.seikei.ac.jp/jsh/

〒180-8633　東京都武蔵野市吉祥寺北町3-10-13
TEL：0422-37-3818　FAX：0422-37-3863
E-mail：chuko@jim.seikei.ac.jp

2022.04.19,000